

---

---

## b j リーグホームタウンミーティング 2010

### 実施報告書

#### 日 付

平成 22 年 1 月 30 日 (土) (※ b j リーグオールスターゲームの前日)

#### 会 場

- 第 1 会場：東北大学片平キャンパス さくらホール・2 階 会議室  
(仙台市青葉区片平 2-1-1)
- 第 2 会場：グランディ・21 宮城スタジアム  
1 階 インタビュールーム、競技運営室、6 階 展望室  
(宮城県宮城郡利府町菅谷字館 40-1)

#### 主 催

仙台 89ERS とともにまちづくりをすすめる会「イエローブースターズ」

#### 共 催

指定管理者グランディ・21 グループ

#### 後 援

仙台市、東北大学多元物質科学研究所

#### 協 力

スポーツボランティア S V 2004、(財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク、  
(財)仙台観光コンベンション協会、(株)河北新報社、(株)仙台スポーツリンク、仙台大学、  
仙台プロスポーツネット、グランディ・21 ボランティア

- ◎ 第 2 分科会「プロスポーツとボランティア」、懇親会については、「第 6 回東北スポーツボランティアサミット IN 宮城」との共同開催

### 参加数

参加数（※ 人数は関係者等を含む）

- 基調講演・・・約 120 名
- 分科会・・・第1分科会 45名、第2分科会 61名、第3分科会 35名
- 懇親会・・・約 80名

▼bjリーグ加盟チーム関係者、bjリーグ本拠地等自治体、ボランティア団体、他関係団体、一般参加者など、多数の団体から広く参加があった。事前申込に加え、当日の飛び入り参加も多数あった。

### 取材メディア

河北新報、朝日新聞、フジテレビ（※ 事務局把握分）

### スケジュール

12:30~13:00 **受付**

- ▼「bjリーグホームタウンミーティング2010」と「東北スポーツボランティアサミット」両受付を設置し参加者を出迎えた。
- ▼受付コーナー後方に、仙台89ERSホームゲーム会場（仙台市体育館）で掲出しているユニフォーム型フラッグや開幕戦で配布したチアペーパーでの会場装飾。
- ▼主催である「イエローブースターズ」、また、本イベントと共同開催の「bjリーグホームタウンサミット2010」の主催者「スポーツボランティアSV2004」両団体の紹介資料・パンフレットを配布。
- ▼本イベントの資料に加え、bjリーグや89ERSの観戦ガイド、ホームタウンガイドや、街歩きマップ等の観光パンフレットを配布。



### 13:00~13:15 **開会**

〈挨拶〉 イエローブースターズ 安齋 知秀 会長

▼主催者であるイエローブースターズの会長より、このイベントの開催趣旨を交え挨拶。



### 13:15~14:00 **基調講演**

〈テーマ〉「b j リーグの過去・現在・未来」

〈講師〉 b j リーグコミッショナー 河内 敏光 氏

〈参加数〉 約 120 名

▼b j リーグ紹介DVDでの映像を交え、2005年の設立から5年目を迎える「b j リーグ」の設立エピソード、現在までの発展の道筋、今後の展望、b j リーグ全般について講演。

▼b j リーグという枠を越え、バスケットボール競技の特色や、世間のバスケットへの意識などを交え、今後のバスケットボール競技の普及と発展への取組を紹介。



14:15~16:30 **第1分科会**

〈会場〉 さくらホール 2階・会議室 前方区分)

〈テーマ〉「プロスポーツと人づくり・街づくり」

〈コーディネーター〉 仙台大学体育学部スポーツマネジメント・コース 講師 柳 久恒 氏

〈パネラー〉 ・みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) 事務局統括 小林 幸司 氏

仙台プロスポーツにおける環境活動

(試合会場における取組、運営関係団体との連携など)

・ (株)河北新報社営業本部営業企画部長 児玉 聡 氏

仙台プロ球団支援組織と地域団体との連携、支援組織同士の連携

(コアなファンを生む道筋、仙台を越えたエリアの拡大など)

・ (株)楽天野球団コミュニケーション部地域密着推進グループマネージャー 小野寺 仁 氏

楽天の地域密着活動への取組・推進

(球団の健全経営とチーム強化に繋がる地域密着活動の重要性)

・ 仙台商工会議所青年部副会長 松坂 信 氏

地元商店街としてのプロスポーツとの連携

(プロスポーツフェスティバルの企画、各球団応援のための商店街装飾など)

・ 仙台市企画市民局スポーツ振興課主幹 清水 義明 氏

仙台のプロスポーツ支援 (支援組織を通じた取組の紹介)

〈参加数〉 45 名

▼キーワードは「連携」。プロスポーツによる地域ネットワークの形成。チーム、行政、経済界、商店街、ボランティア、環境団体、市民などによる連携。

▼コーディネーター、パネラーの自己紹介を交え、各者のプロスポーツとの関わりを紹介。パネラー同士で意見交換を行い、参加者の声も交え討議。





### 14:15~16:30 **第3分科会** (※ 第1分科会とは別室で同時進行)

〈会場〉 さくらホール 2階・会議室 後方区分)

〈テーマ〉 「プロスポーツと観光・交流」

〈コーディネーター〉 (財)仙台観光コンベンション協会常務理事 千葉 久美 氏

〈パネラー〉 ・ ホテルグリーンチェーンG・M 今中 美恵 氏

・ 東北産業活性化センター企画部長 小杉 雅之 氏

・ 宮城大学事業構想学部教授 宮原 育子 氏

・ JTB東北 法人営業仙台支店営業第三課長 佐藤 一彦 氏

・ (株)楽天野球団コミュニケーション部地域密着推進グループマネージャー 小野寺 仁 氏

〈参加数〉 35名

▼キーワードはプロスポーツを活用した交流人口の増加、連携と協働。

地域経済への経済効果と活性化も含め、仙台の交流人口拡大へプロスポーツが与えてきた活性化。

▼プロスポーツ活用による交流人口増加の可能性、プロスポーツをテーマとする「新観光商品」の創造、アウェイ戦会場等での仙台セールス・PRの開発、プロスポーツによる地域経済活性化を図るための協働。

▼プレゼンターと各パネラーから、自己紹介及びテーマに関する得意分野の紹介を行い、その後、参加者のからの声を交えながら、パネラー同士でディスカッション。





### 15:00~17:00 第2分科会

〈会場〉 宮城スタジアム 1階・インタビュールーム  
〈共通テーマ〉「プロスポーツとボランティア」(※ 2班編成)  
〈参加数〉 61名 (2班合計)

▼第2班コーディネーターの村松氏より、仙台のスポーツボランティア、およびbjリーグオールスターゲームについての全体説明後、2班に分かれて討議。

### 第1班

〈会場〉 宮城スタジアム 1階・競技運営室 2~3  
〈テーマ〉 bjリーグホームタウンミーティング「プロスポーツとボランティア」  
……………bjリーグを中心としたボランティアが対象  
〈コーディネーター〉 スポーツボランティア SV2004 副理事 村松 淳司 氏  
〈参加数〉 32名

▼村松氏から「ベガルタ仙台・東北楽天ゴールデンイーグルス・仙台89ERSの3つのプロスポーツとボランティアの関わり」について紹介。その後、参加者をグループ分けし「プロスポーツボランティア活動の長所・短所」について討議、発表。





### 第2班

〈会場〉 宮城スタジアム 1階・競技運営室 4～5

〈テーマ〉 東北スポーツボランティア・サミット

「スポーツボランティアの連携～支える気持ちはひとつ」

……東北を中心とするボランティアが対象

〈コーディネーター〉 スポーツボランティア SV2004 代表理事 泉田 和雄 氏

〈参加数〉 29 名

▼参加者をグループ分けし「スポーツボランティアが連携してできること・やりたいこと」について、同組織の者同士の連携、他の組織との連携に焦点を当て、討議、発表。



18:00~20:00 **懇親会**

〈会場〉 宮城スタジアム 6階・展望室（スカイビューラウンジ）

〈参加数〉 約 80 名

▼全国から集ったボランティアをはじめ、bjリーグチーム関係者、本拠地等自治体、関係団体が参加。

